

## 草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要

<b>I. 事業の概要</b>	
1. 対象国名	ブラジル
2. 事業名	サンパウロ市における音楽リハビリを活用した介護予防モデル構築
3. 事業の背景と必要性	<p>世界の健康および高齢化に関する WHO 報告書によると、全世界の高齢者人口は 2050 年までに現在の 2 倍になるというデータがあり、ブラジルにおいては約 3 倍になる予測である。また、ブラジルにおける 60 歳以上の高齢者が人口に占める割合は 2003 年では 8.5%（1500 万人）だったが、現在は 13%（2700 万人）に達している。（2017 年ブラジル地理統計院）</p> <p>ブラジルでは国の介護保険制度がないため、介護予防に対する統一的な施策もない。民間では元気高齢者向けの運動教室並びに要介護高齢者向けのデイサービス施設は増えつつあるが、どちらにも属さない中間層に向けた介護予防教室は圧倒的に少ない。また、国民の意識においても介護予防の重要性に関する認知度は低い。加えて、介護予防教室を担う地域ボランティアの質は一定に保たれていないのが現状である。費用対効果が最も優れている介護予防活動が啓発も含めて必要とされている。</p>
4. プロジェクト目標	音楽リハビリを活用した介護予防の実施モデルが構築される
5. 対象地域	ブラジル・サンパウロ市
6. 受益者層 (人数規模)	<p>直接受益者：サンパウロ大学老年学部教授・助手（約 10 名） 介護予防指導者（地域ボランティア・福祉施設職員（約 20 名））</p> <p>間接受益者：介護予防教室を受ける地域高齢者（300 人×20 拠点 6,000 人）</p>
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音楽リハビリを行う介護予防指導者（インストラクター）のトレーナー（教授陣）が育成される。</li> <li>2. 音楽リハビリを行う介護予防指導者が育成される。</li> <li>3. 音楽リハビリの実践を通じた現地化が図られる。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 介護予防指導者のトレーナー（サンパウロ大学老年学部教授陣）に向けた音楽リハビリ指導マニュアルを作成</li> <li>1-2 介護予防指導者のトレーナーがプロジェクトマネージャーから音楽リハビリについて受講</li> <li>1-3 介護予防指導者（インストラクター）への指導法を検討・策定</li> <li>1-4 介護予防指導者のトレーナーが音楽リハビリの本邦研修を受講</li> <li>1-5 介護予防指導者用マニュアルを作成</li> <li>1-6 介護予防指導者を公募</li> <li>2-1 介護予防指導者がトレーナーから音楽リハビリについて受講</li> <li>2-2 介護予防指導者用マニュアルの改訂（1 回目）</li> <li>2-3 介護予防指導者が音楽リハビリの本邦研修を受講</li> <li>3-1 介護予防教室開始前における高齢者の介護予防に対する意識調査や体力測定の実施</li> <li>3-2 集会所やコミュニティで介護予防教室の実施</li> <li>3-3 介護予防指導者に対するフォローアップの実施</li> <li>3-4 介護予防教室開始後における高齢者の介護予防に対する意識調査や体力測定の実施</li> <li>3-5 介護予防指導者用マニュアルの改定（2 回目）</li> </ol>
8. 実施期間	2021 年 3 月～2024 年 2 月（3 年）
9. 事業費概算額	40,354 千円
10. 実施体制	<p>日本側協力団体：株式会社エムズ（介護技術専門家）、宮城ブラジル友好協会（市民参加協力促進）</p> <p>現地カウンターパート：サンパウロ大学老年学部</p> <p>現地協力機関：サンパウロ市役所人権市民局高齢者課、ENKYO（日伯援護協会）、ブラジル宮城県人会</p> <p>現地協力者：JICA 日系研修（音楽リハビリ）修了者</p>
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名 (提案自治体名)	株式会社ゆらリズム（宮城県経済商工観光部国際企画課、保健福祉部長寿社会政策課）
2. 活動内容	高齢者介護予防施設（通所介護）の運営・介護予防プログラム研修事業